

NY マーケットレポート (2016 年 6 月 15 日)

NY 市場では、英国の EU 離脱懸念が引き続き材料視され、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。序盤に発表された米国経済指標の結果が強弱まちまちの結果となったことや、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強まったこともあり、限定的な動きとなった。FOMC では、追加利上げが予想通り見送られたことに加え、年内の利上げ回数を 1 回と予測するメンバーが前回から増えたことなどを受けて、利上げ期待の後退観測からドルが主要通貨に対して下落した。ドル/円は、一時 105.44 円まで下落し、2014 年 10 月以来の安値を付ける動きとなった。その後、値頃感からの買い戻しや、利上げベースは維持されとの見通しなどもあり、終盤には値を戻す動きとなった。

2016年 6月15日 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	106.27	106.35	105.95
EUR/JPY	119.20	119.35	118.73
GBP/JPY	150.59	150.79	149.36
AUD/JPY	78.41	78.54	77.76
EUR/USD	1.1220	1.1230	1.1190

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	106.40	106.21
EUR/JPY	119.44	119.15
GBP/JPY	151.19	150.52
AUD/JPY	78.75	78.36
EUR/USD	1.1236	1.1213

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15919.58	+60.58
ハンセン指数	20467.52	+79.99
上海総合	2887.21	+45.02
韓国総合指数	1968.83	-3.20
豪ASX200	5147.06	-56.21
インドSENSEX指数	26726.34	+330.63
シンガポールST指数	2774.25	+5.92

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	5966.80	+43.27
仏CAC40	4171.58	+41.25
独DAX	9606.71	+87.51
STX欧州600	323.63	+3.10
西IBEX35指数	8250.80	+124.10
伊FTSE MIB指数	16513.97	+242.62
南ア 全株指数	52026.71	+632.40

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	105.98	106.24	105.44
EUR/JPY	119.35	119.48	118.85
GBP/JPY	150.62	150.88	149.54
AUD/JPY	78.51	78.68	78.26
NZD/JPY	74.57	74.73	74.32
EUR/USD	1.1261	1.1297	1.1209
AUD/USD	0.7409	0.7446	0.7388

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17640.17	-34.65
S&P500	2071.50	-3.82
NASDAQ	4834.93	-8.62
日経225 (CME)	15865	+90
トロント総合	13923.45	+39.22
ボルサ指数	45011.22	+440.63
ボエスパ指数	48914.74	+266.45

6/16 経済指標スケジュール

10:00	【オーストラリア】6月消費者インフレ期待
10:30	【オーストラリア】5月新車販売台数
10:30	【オーストラリア】5月失業率
10:30	【オーストラリア】5月雇用者数
10:30	【オーストラリア】5月労働参加率
12:00	【日本】日銀金融政策決定会合[結果公表](時間不確定)
15:00	【欧州】5月新車登録台数[EU-27]
16:30	【スイス】政策金利発表
17:00	【欧州】欧州中銀経済報告
17:00	【ノルウェー】5月貿易収支
17:30	【香港】5月失業率
17:30	【英国】5月小売売上高指数
18:00	【欧州】5月消費者物価指数
20:00	【英国】6月英中銀議事録
20:00	【英国】政策金利発表
21:30	【カナダ】4月国際証券取扱高
21:30	【米国】5月消費者物価指数
21:30	【米国】6月フィラデルフィア連銀景況指数
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】1Q経常収支
23:00	【米国】6月NAHB住宅市場指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1288.30	+0.20
NY 原油	48.01	-0.48
CME コーン	434.00	-7.75
CBOT 大豆	1138.50	-10.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.67%	0.73%
3年債	0.80%	0.85%
5年債	1.08%	1.14%
7年債	1.37%	1.42%
10年債	1.58%	1.62%
30年債	2.42%	2.43%

6/16 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 定例会見
- ・MPC (英金融政策委員会)
- ・ユーロ圏財務相会合

経済指標データ

＜NY連銀製造業景気指数＞

現状)

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
業況	6.01	-9.02	9.56	0.62	-16.64	-19.37
仕入価格	18.37	16.67	19.23	2.97	2.97	16.00
販売価格	-1.02	-3.13	2.88	5.94	-4.95	4.00
新規受注	10.90	-5.54	11.14	9.57	11.63	-23.54
出荷	9.32	-1.94	10.17	13.88	-11.56	-14.39
在庫	-15.31	-7.23	-4.81	-6.93	0.00	-6.00
雇用者数	0.00	2.08	1.92	-1.98	-6.93	-13.00

6ヵ月先の見通し)

	6月	5月	4月	3月	2月	1月
業況	34.84	28.48	29.40	25.52	14.48	9.51
仕入価格	29.59	28.13	27.88	19.80	14.85	31.00
販売価格	7.14	6.25	5.77	7.92	3.96	12.00
新規受注	38.24	22.43	36.55	38.96	22.15	12.18
出荷	29.13	24.37	37.18	33.33	23.82	16.97
在庫	3.06	0.00	-1.92	10.89	0.99	1.00
雇用者数	-2.04	10.42	13.46	12.87	16.83	4.00

同指標はゼロが景況の分岐を示す

21:30

＜経済指標の結果＞

5月米生産者物価指数(前月比) 0.4% (予想 0.3%・前回 0.2%)

5月米生産者物価指数[コア] 0.3% (予想 0.1%・前回 0.1%)

5月米生産者物価指数(前年比) -0.1% (予想 -0.1%・前回 0.0%)

5月米生産者物価指数[コア] 1.2% (予想 1.0%・前回 0.9%)



出所: Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《生產者物價指數》

5月・・4月・・3月・・2月・・1月・・12月

最終需要 0.4 . . 0.2 . . -0.1 . . -0.2 . . 0.1 . . -0.2

消費財	0.7	0.2	0.2	-0.6	-0.7	-0.7
-----	-----	-----	-----	------	------	------

食料品 0.3 . . -0.3 . . -0.9 . . -0.3 . . 1.0 . . -1.4

エネルギー全体	2.8	0.2	1.8	-3.4	-5.0	-3.5
---------	-----	-----	-----	------	------	------

除く食品・エネルギー・0.3・0.3・0.1・0.1・0.0・0.1

サービス・・・・・・・・・・0.2・・0.1・・-0.2・・0.0・・0.5・・0.1

21 : 30

《 経済指標の結果 》

4月カナダ製造業出荷（前月比） 1.0%（予想 0.6%・前回 -0.9%）



出所 : Bloomberg

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5 月カナダ中古住宅販売件数（前月比） -2.8%（前回 3.1%）



出所 : Bloomberg

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

5 月米鉱工業生産（前月比） -0.4%（予想 -0.2%・前回 0.6%）
前回発表の 0.7%から 0.6%に修正

5 月米設備稼働率 74.9%（予想 75.2%・前回 75.3%）
前回発表の 75.4%から 75.3%に修正



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米鉱工業生産・設備稼働率》

5月・4月・3月・2月・1月・12月
 鉱工業生産・・・-0.4・0.6・-1.0・-0.2・0.5・-0.4
 製造業・・・-0.4・0.2・-0.4・0.0・0.4・0.0
 鉱業・・・0.2・-2.6・-2.4・-0.7・-1.8・-2.2

最終財・・・-0.7・1.0・-1.0・0.0・0.9・-0.2
 原材料・・・-0.2・0.2・-0.9・-0.4・0.2・-0.7

設備稼働率・・・74.9・75.3・74.8・75.6・75.8・75.4
 製造業・・・74.8・75.2・75.1・75.4・75.5・75.2
 鉱業・・・73.1・72.7・74.4・76.0・76.3・77.5

22：45

米主要株価

出所：SBILM

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17708.28	+33.46
ナスダック	4854.89	+11.34

23：30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・93.3万バレル減少
 ガソリン在庫・・・262万バレル減少
 留出油在庫・・・78.6万バレル増加

23 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、アジアや欧州の株式相場が堅調に推移していることを好感した買いが先行した。ただ米 FOMC の結果発表を控えて、上値はやや限定的となっている。NY ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 73 ドル高まで上昇した。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 6 月ニューヨーク連銀製造業景気指数は、2 カ月ぶりのプラスとなり、前月の落ち込みが一時的だったことが示された。仕入価格が 18.37 (前月 16.67)、販売価格が-1.02 (-3.13)、新規受注が 10.90 (-5.54)、出荷が 9.32 (-1.94)、週平均就業時間が-5.10 (-8.33) と改善したが、雇用者数は 0.00 (2.08)、在庫水準は-15.31 (-7.29) と低下。また、6 カ月先の予想指数では 34.84 (28.48) となり、昨年 12 月以来の高水準となるなど、大半の項目で改善したが、雇用者数と就業時間が悪化している。

(2) 5 月の米生産者物価指数は、市場予想の+0.3%上昇を上回る前月比+0.4%となり、2 カ月連続のプラスとなった。前年同月比では-0.1%だった。原油価格の持ち直しを背景にエネルギー関連が値上がりし、最終需要財の価格を押し上げた。また、最終需要サービスの上昇も寄与した。

①変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースでは前月比で+0.3%、前年同月比では+1.2%。食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースは前月比が-0.1%、前年同月比では+0.8%だった。

②モノは前月比で+0.7%、前年同月比では-2.6%。ガソリン価格などが値上がりしたことで、エネルギー価格が前月比+2.8%、食品が+0.3%。サービスは+0.2%となり、貿易は+1.2%、輸送・倉庫は-0.6%となった。

(3) 5 月の米鉱工業生産は、市場予想の-0.2%を下回る前月比-0.4%となり、2 カ月ぶりのマイナスとなった。主力の自動車生産が不振となったことが影響した。鉱工業生産活動は、昨年 9 月以降軟調に推移しており、前月は大きな伸びを示したが、再び弱含む結果となった。

①生産指数は、製造業が-0.4%と 2 カ月ぶりのマイナス。電力・ガスも-1.0%、エネルギー価格の下落が逆風となってきた鉱業は+0.2%とプラスに転じた。製造業のうち自動車・同部品が-4.2%、一般機械が-1.0%、一次金属は+0.6%、家電などは+0.2%となった。

②設備稼働率は、前月比 0.4 ポイント低下の 74.9%と市場予想の 75.2%を下回った。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5966.80	+43.27
仏 CAC40	4171.58	+41.25
独 DAX	9606.71	+87.51
ストック欧州 600 指数	323.63	+3.10
ユーロファースト 300 指数	1271.45	+11.31
スペイン IBEX35 指数	8250.80	+124.10
イタリア FTSE MIB 指数	16513.97	+242.62
南ア アフリカ全株指数	52026.71	+632.40

出所：SBILM

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、英国の EU 離脱懸念を背景に前日まで急ピッチで下げた反動で、幅広い銘柄に買い戻しが入り、主要株価は反発となった。



出所：Bloomberg

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17710.97 (+36.15)、S&P500 2081.54 (+6.22)、ナスダック 4858.26 (+14.71)

《欧州のポイント》

①オズボーン英財務相は、英国が EU から離脱する「ブレグジット」について、来週の国民投票を前に既に金融市場に影響が表れ始めているとの見方を示した。財務相は「EU 離脱は英国の家計に全面的にマイナスだ。われわれはそうしたリスクを冒すべきできない。疑わしいと思うなら、金融市場で何が起きているか見てみればいい」と指摘。最近の債券や英国株の急落について、「英国の EU 離脱に対する懸念を背景に、英国経済から現実には資金が流出していることを示している」と述べ、「起きるはずはないと離脱派が主張する経済の先行き不透明感が既に見られる」と語った。

②ギリシャ中銀が発表した金融政策報告で、予想される第 3・四半期と第 4・四半期のプラス成長が上半期のマイナスの結果を相殺し、2016 年全体では -0.3% の成長になるとの見方を示した。さらに、景気後退は終わりに近づいているとし、今年後半に回復の明らかな兆候が始めると指摘した。ギリシャ中銀は、財政目標を緩和することによって、債権団は景気回復を支援することができると強調。現在は、2018 年以降のプライマリーバランス黒字を目標として、対 GDP 比 3.5% の達成が求められているが、これを 2.0% に緩和するよう要請した。中銀はまた、償還期限の延長など債務負担軽減策の実施も求めた。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米生産者物価指数や NY 連銀製造業景況指数が市場予想を上回ったことを受けて売りが入る一方、米鉱工業生産指数が予想より大きく落ち込んだことで買い戻しも入り、もみ合いの動きとなった。ただ、米 FOMC の結果を見極めたいとして、積極的な売買が手控えられた。

午前の利回りは、30 年債が 2.41% (前日 2.42%)、10 年債が 1.60% (1.61%)、7 年債が 1.40% (1.41%)、5 年債が 1.12% (1.14%)、3 年債が 0.84% (0.85%)、2 年債が 0.72% (0.72%)。

3 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

FOMC 政策金利 (FF 金利誘導目標)

0.25%-0.50% (予想 0.25%-0.50%・前回 0.25%-0.50%)



出所 : Bloomberg

3 : 00

◀FOMC 声明▶

- ・「FF 金利誘導目標を 0.25-0.5%で据え置き」
- ・「金利据え置きは全会一致で決定」
- ・「6 人が今年 1 回の利上げを予測、3 月時点では 1 人」
- ・「労働市場の指標は「強くなる」見通し」
- ・「労働市場の改善ペースは減速した」
- ・「バランスシートは、再投資方針を維持」
- ・「緩やかな利上げのみ経済は正当化すると再表明」

FRB スタッフ予想

- ・「長期失業率は 4.8% (前回予想 4.8%)」
- ・「2016 年 GDP は+2.0% (前回予想は+2.2%)」
- ・「2016 年 PCE 価格指数は+1.4 (前回予想は+1.2%)」
- ・「PCE 価格指数の 2%の目標達成は 2018 年」
- ・「2016 年末の FF 金利 0.9% (前回予想 0.9%)」
- ・「2017 年末の FF 金利 1.6% (前回予想 1.9%)」
- ・「2018 年末の FF 金利 2.4% (前回予想 3.0%)」
- ・「2016 年は 2 度の利上げ示唆 (前回は 2 度)」
- ・「2017 年は 3 度利上げ示唆 (前回は 4 度)」

3 : 40

≪ 要人発言 ≫

イエレン FRB 議長～定例会見

- ・「慎重な政策アプローチは適切」
- ・「石油以外の経済での減速は予想外だった」
- ・「労働市場の改善ペース、著しく減速した」
- ・「1、2 ヶ月の統計に過剰反応するべきではない」
- ・「世界経済に脆弱さは残る」
- ・「投資家のリスク志向は突如変わることがある」
- ・「経済への向かい風、しばらく続く可能性も」
- ・「最近の指標はまちまち」
- ・「第 1 四半期の家計支出鈍化は一時的」
- ・「第 2 四半期の指標は著しい持ち直し示す」
- ・「労働市場の改善ペースは直近で著しく減速した」
- ・「賃金の伸びようやく加速の兆候」

3 : 45

NY 金は、中心限月が前日比 0.20 ドル高の 1 オンス＝1288.30 ドルで取引を終了した。

4 : 00

≪ 要人発言 ≫

イエレン FRB 議長～定例会見（質疑応答）

- ・「FOMC では英国民投票を討議した」
- ・「この日の FOMC は、英国民投票を考慮して決定」
- ・「英国民投票は、世界経済と金融状況に打撃与えかねない」
- ・「国外の不透明感は米金融政策にとって重大」
- ・「金利調整の可能性はどの会合でもある」
- ・「何回の利上げをするかは議論しない、各回状況を見て議論をしている」
- ・「労働市場の進展が終わったと考えてはならない」
- ・「賃金上昇は、労働市場が概して健全な兆候」
- ・「7 月利上げは不可能ではない」
- ・「適切と判断されれば数カ月内に行動の可能性も」
- ・「4 月声明の市場の解釈は意外だった」
- ・「通常なら金融と財政政策は切り離す必要」
- ・「政策の違いは為替レートに影響及ぼす傾向」
- ・「強いドルは米経済に下押し圧力をかけ得る」

4 : 15

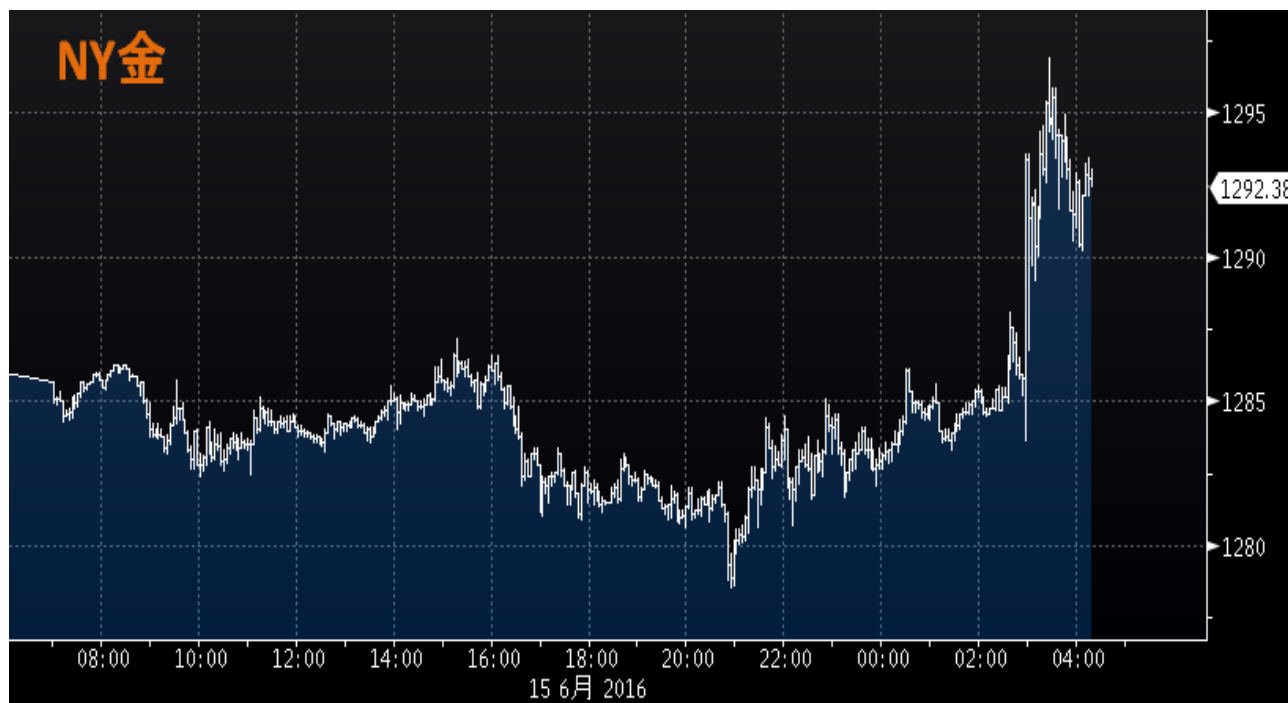
NY 原油は、中心限月が前日比 0.48 ドル安の 1 バレル＝48.01 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1288.30	+0.20
NY 原油	48.01	-0.48

出所：SBILM

<< NY 金市場 >>

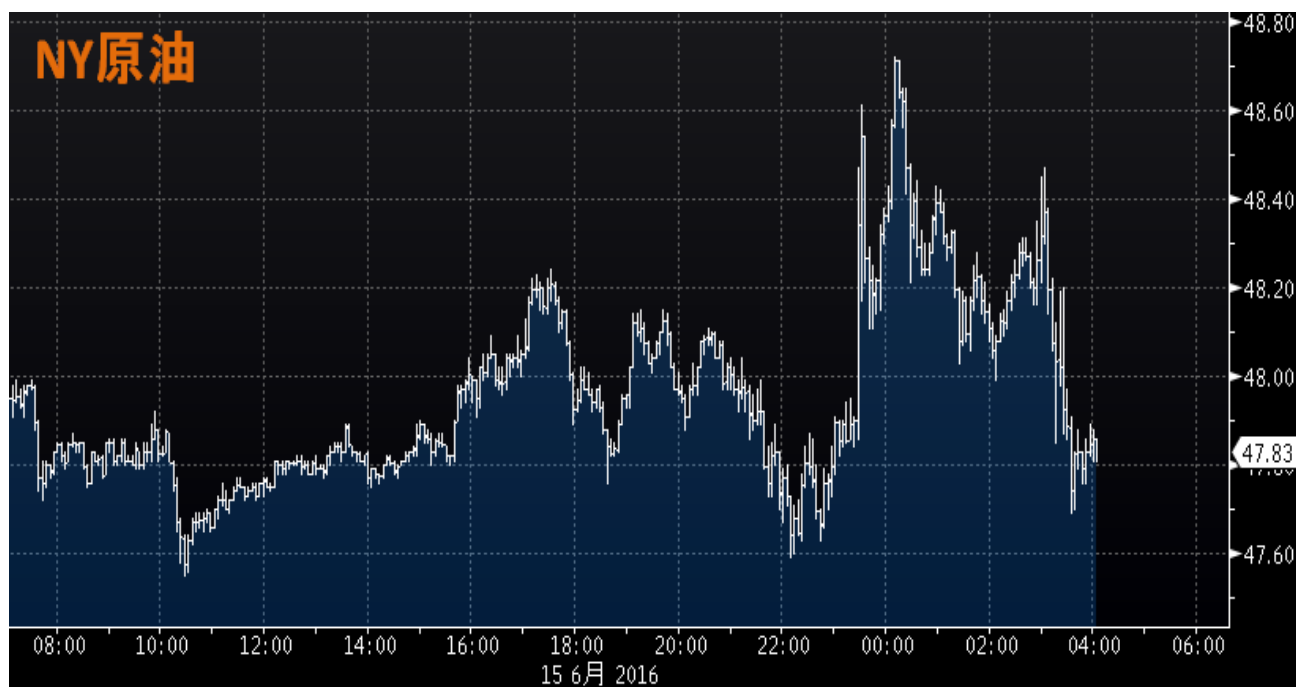
NY 金は、米 FOMC の結果発表を控えて小幅な値動きとなった。英国の EU 離脱を懸念する投資家がリスク回避姿勢を強める中、FOMC による利上げ見送り発表後は、安全資産としての金の買いが膨らんだ。



出所：Bloomberg

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、英国が EU を離脱した場合の世界経済への悪影響を懸念した売りが相場を圧迫した。ただ、米石油統計で原油在庫が減少したことを好感して、下げ幅が縮小する場面もあった。



出所：Bloomberg

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17640.17	-34.65	17762.96	17629.01
S&P500 種	2071.50	-3.82	2085.65	2069.80
ナスダック	4834.93	-8.62	4868.17	4830.33

出所：SBILM

《米株式市場》

米株式市場は、アジアや欧州の株式相場が堅調に推移していることを好感した買いが先行した。ただ米 FOMC の結果発表を控えてやや上値は限定的となった。そして、FOMC で利上げが先送りとなったことを受けて堅調な動きも見られたが、低調な成長見通しを示されたことから、終盤にはマイナス圏まで下落する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 88 ドル高まで上昇した。しかし、終盤にはマイナス圏まで下落となり、4 営業日続落となった。



出所：Bloomberg

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	105.98	106.24	105.44
EUR/JPY	119.35	119.48	118.85
GBP/JPY	150.62	150.88	149.54
AUD/JPY	78.51	78.68	78.26
NZD/JPY	74.57	74.73	74.32
EUR/USD	1.1261	1.1297	1.1209
AUD/USD	0.7409	0.7446	0.7388

出所：SBILM

《外国為替市場》

外国為替市場は、英国の EU 離脱懸念を背景に、リスク回避の動きが続いており、序盤からドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、FOMC の結果発表を控えており、やや限定的な動きとなった。そして、FOMC では利上げが先送りとなったことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落となり、ドル/円は一時 2014 年 10 月以来の安値を付ける動きとなった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。